

# 地球温暖化防止実行計画

平成24年11月  
ホクシン工業株式会社

## 1. 事業内容

ホクシン工業株式会社は、地域の交通安全と快適な生活環境づくりに貢献することを目指しています。工事事業部では交通安全施設工事の設計施工、環境事業部は下水道施設のメンテナンスをレンタル事業部では工事現場の保安用品のレンタル・販売を行っています。

### 会社概要

社 名 : ホクシン工業株式会社  
代 表 者 : 代表取締役社長 岡田 稔  
設 立 : 昭和60年8月26日  
本 社 : 金沢市神田町1丁目13番1号  
事 業 所 : 3事業部7営業所(石川県 他4県)  
職 員 数 : 77名

### 事業の概要

許可業種 : 土木工事一式・塗装工事、とび・土工・コンクリート工事、管工事、ほ装管工事、しゅんせつ工事

資本金 : 4,000万円

営業種目 : 交通安全施設工事  
(道路区画線工事、道路標識工事、反射鏡・防護柵工事)

## 2. 計画の目的

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展して行くことを目指します。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を推進します。

- ① 事業活動中でのエネルギーの消費削減
- ② 工事事業部門、事務部門における廃棄物の排出削減
- ③ 事業活動中での、紙使用量の節減・水使用量の節水

## 3. 計画期間

平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日 (3年間)

## 4. 計画の範囲

この計画の範囲とする事業活動は次のとおりとする。

・ 本 社…………… 総務部・工事事業部

## 5. 温室効果ガスの排出量の現況

### (1) 基準年(平成23年度)温室効果ガス排出状況

項目	消費量	二酸化炭素換算量
電力使用量	50,255kwh	18,996Kg・CO <sub>2</sub>

### (2) 施設・事業別排出割合

総務部・工事事業部は、本社機能であるため、本社全体の発生量として算出します。

### (3) 燃料別排出割合

23年度のエネルギー別排出割合は以下のとおりです。

二酸化炭素排出量 (単位: Kg・CO<sub>2</sub>、%)

区分		排出量	割合
燃料	ガソリン	53,034	37.1
	軽油	45,942	32.1
	灯油	808	0.6
	プロパンガス	24,130	16.9
電力		18,996	13.3
二酸化炭素排出量		142,910	100.0

### (4) 温室効果ガス排出原因分析

当社の事業活動における温室効果ガス排出原因の中で、最も影響の大きいものはガソリンの使用によるものであり、次いで大きいものは軽油の使用で、当社の総排出量の約70%を占めています。

#### 1) ガソリンの使用

- ・ 社有車の使用 (営業用自家用車 等)
- ・ 工事現場で使用の工作機械・発電機等
- ・ フォークリフトの使用

#### 2) 軽油の使用

- ・ 社有車 (ハイエース等) の現場連絡車
- ・ ニーダー車・クレーン車・ストライカー車等の施工機械

## 6. コピー用紙、廃棄物、水道使用量の現況

### (1) 平成23年度コピー用紙の購入量

サイズ	購入量 (枚)
A3	2,500
A4	62,500
B4	5,000

### (2) 平成23年度廃棄物の現況 (廃棄物の種類及び排出量)

#### 一般廃棄物・産業廃棄物の排出量 (単位: Kg)

内 訳	数 量	内 訳	数 量
可燃物	1,067	金属くず	3,000
コンクリート殻	2,800	廃プラスチック	9,200
アスコン殻	6,800	木くず	1,800
その他がれき類	7,600	紙くず	14,800
ガラス・陶磁器くず	2,000	合 計	49,067

### (3) 平成23年度水道使用量の現況

#### 水道の使用量 (単位: m<sup>3</sup>)

区 分	使用量
上水道	384

## 7. 二酸化炭素排出量等の削減目標

平成23年度の排出量を基準として削減目標を次のとおり設定する。

#### 二酸化炭素の削減目標 (単位: kwh、Kg・CO<sub>2</sub>)

区 分	24年度	25年度	26年度
電力使用量	49,752	49,501	49,250
二酸化炭素使用量	141,481	140,766	140,052
削減目標(対23年度)	1%	1.5%	2.0%

## 8. 削減のための取り組み

### (1) 電力使用量の削減

#### 1) 削減目標

電力使用量を23年度の使用量を基準に、26年末までに2%削減します。

#### 2) 目標達成に向けた重点施策

- ・事務室の空調温度を適正（冷房時28℃、暖房時22℃）に設定する。
- ・昼休みの消灯と人のいない部屋（応接室、湯沸室等）の消灯を徹底する。
- ・パソコン・コピー機の節電機能を活用する。
- ・クールビズ、ウォームビズ等政府の温暖化防止対策に協力する。

## 9. その他の環境対策

当社では、その他の環境対策として以下の取り組みを実施します。

### (1) コピー用紙使用量の削減

#### 1) 削減目標

コピー用紙の使用量を23年度の使用量を基準に、26年末までに1%削減します。

#### 2) 目標達成に向けた重点施策

- ・両面印刷・両面コピーを徹底する。
- ・使用済み用紙の裏面を利用する。
- ・書類・資料の電子データ化の促進。
- ・社内会議資料等は、必要最小限にする。

### (2) 水道水の使用量の削減

#### 1) 削減目標

水道水の使用量を23年度の使用量を基準に、26年末までに2%削減します。

#### 2) 目標達成に向けた重点施策

- ・配管からの漏水を定期的に点検する。
- ・手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。
- ・洗車用のホースに手元コックを取り付ける。
- ・水道蛇口に節水こまを設置する。

### (3) 廃棄物の適正管理と排出量の削減

#### 1) 削減目標

廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクル率の向上を目指す。

## 2) 目標達成に向けた重点施策

### (産業廃棄物)

- ・ 廃棄物管理表(マニフェスト)の管理を徹底する。
- ・ 廃棄物の分別解体の徹底 と産廃専用ボックスを置き整理する。
- ・ 防護柵、標識のスクラップは金属くずとして産廃専用ボックスとは別に処分する。

### (一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、3R（リサイクル・リユース・リデュース）に努める。
- ・ 排出する廃棄物は45リットルのゴミ袋の重量（Kg）で、記録する。
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。

## 4) 危険物・洗浄剤の安全管理

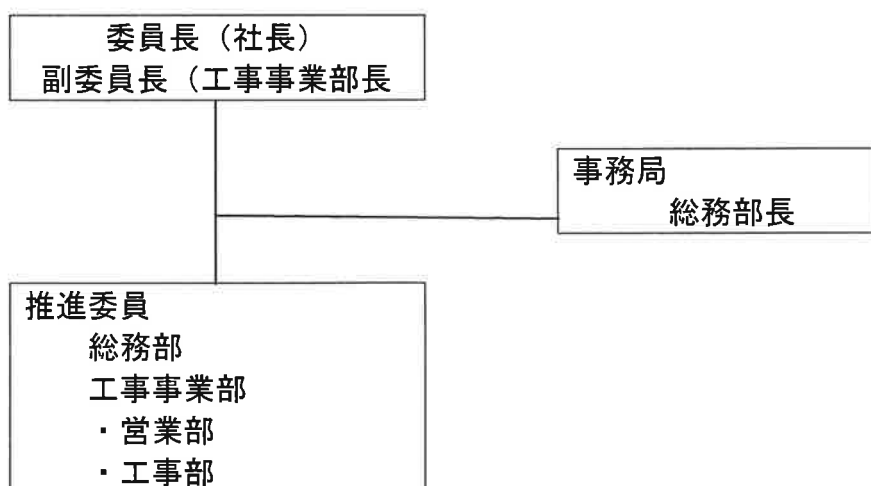
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する。
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする。
- ・ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う。

## 5) その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5S(整理.整頓.清掃.清潔.躰)を徹底する。
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に保管(返却)する。
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する。

## 10. 環境行動計画の推進

### (1) 環境活動委員会組織図



(2) 社員への啓蒙

- 1) 社長を委員長とする環境活動委員会は、目標ごとに年1回定期的に取り組  
目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。
- 2) 環境活動の成果、評価および環境保全に関する情報を社内に発信する。
- 3) クールビズ、ウォームビズによる適正温度への積極的対応の指導を行う。